

V 調査票

V 調査票

栃木県政世論調査

令和元（2019）年6月

【暮らしの変化について】

問1 あなたの暮らしは、この5～6年の間にどう変わりましたか。次の中から1つ選んでください。

1 かなり良くなった	4 少し悪くなった
2 少し良くなった	5 かなり悪くなった
3 変わらない	6 わからない

（問1で選択肢「4」、「5」を選んだ方のみお答えください）

→ 問1-1 悪くなったのは、主にどのようなことからですか。もっとも大きな要因を1つ選んでください。

1 物価が上昇したため	4 その他
2 不景気（倒産、経営不振、解雇など）のため	()
3 家庭内の事情で出費が増えたため	5 わからない

問2 あなたは、今の暮らしについてどの程度満足していますか。次の中から1つ選んでください。

1 満足している	4 やや不満がある
2 まあ満足している	5 不満がある
3 どちらともいえない	6 わからない

問3 あなたの暮らしは、これから先どうなっていくと思いますか。次の中から1つ選んでください。

1 良くなっていく	3 悪くなっていく
2 変わらない	4 わからない

問4 あなたは、今後の暮らしの中で、どのような点に力を入れていきたいと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

1 仕事（家事、学業）	9 家族との団らん
2 知識や教養	10 近所との付き合い
3 貯蓄	11 友人や知人との付き合い
4 趣味やスポーツ	12 子育てや子どもの教育
5 ボランティア活動	13 健康づくり
6 衣・食生活の充実	14 その他
7 住生活の改善、充実	()
8 環境にやさしいライフスタイル	15 わからない

[県政への要望について]

問5 県では、皆様のご理解とご協力を得ながら、「人も地域も真に輝く 魅力あふれる元気な “とちぎ”」をめざして様々な仕事をしています。あなたが、県政に対して、特に力を入れてほしいことは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

1 学校教育の充実	20 雇用の安定と勤労者の福祉
2 青少年の健全育成	21 住宅・宅地対策
3 家庭教育の充実	22 資源エネルギー対策
4 社会教育の充実	23 下水道の整備
5 文化の振興	24 公園・緑地・河川の整備
6 スポーツ・レクリエーション施策の充実	25 公共交通ネットワークの整備
7 NPO・ボランティア活動の促進	26 道路の整備
8 広聴・広報の充実	27 地域情報化の推進
9 国際化の推進	28 防災対策
10 子育て・少子化対策	29 防犯対策
11 高齢者福祉対策	30 交通安全対策
12 心身障害者対策	31 消費生活対策
13 医療対策	32 自然保護・環境保全対策
14 保健対策	33 循環型社会の推進(リサイクル・廃棄物対策)
15 男女共同参画の推進	34 行財政改革
16 農林業の振興	35 “とちぎ”ブランド力の強化
17 食料の安定供給の確保・食の安全確保	36 その他
18 商工業の振興	()
19 観光の振興	37 わからない

[文化・芸術活動について]

問6 あなたが日ごろ行っている文化・芸術活動(鑑賞を含む)は、どのようなものですか。次の中からいくつでも選んでください。

1 音楽、映画、演劇、舞踊、絵画、陶芸、書道、写真、文芸などの芸術活動
2 生け花、茶道、和洋裁、盆栽、園芸、囲碁、将棋などの文化活動
3 地域の伝統芸能の保存・継承
4 文化遺産の保護・活用に関する活動
5 その他 ()
6 何も行っていない

[スポーツ活動について]

問7 あなたは、この1年間にどの程度運動やスポーツ(※)を行いましたか。次の中から1つ選んでください。

※ 運動やスポーツには、ウォーキング(散歩、ぶらぶら歩き、一駅歩きなど)、階段昇降(2アップ3ダウンなど)、ジョギング、水泳、体操(ラジオ体操、エアロビクスなど)、室内運動器具を使ってする運動、レクリエーションスポーツ(フライングディスク、スポーツチャンバラなど)、ゲートボール、登山、ゴルフ、釣り、サイクリングのほか、子どもとの体を使った遊び、通勤や家事などの日常生活の中で意識的に体を動かすことなどを含みます。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 週に3日以上(年151日以上) | 4 3か月に1~2日(年4~11日) |
| 2 週に1~2日(年51~150日) | 5 年に1~3日 |
| 3 月に1~3日(年12~50日) | 6 運動やスポーツを行わなかった |

[住んでいる地域について]

問8 あなたは、住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 そう思う | 4 そう思わない |
| 2 ややそう思う | 5 どちらともいえない |
| 3 あまりそう思わない | |

[社会貢献活動について]

問9 この1年間に社会貢献活動(※)に参加しましたか。また、今後参加したいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

※ 社会貢献活動とは、例えば、募金、寄附、プルタブ・エコキャップなどの物品収集、公園清掃などの活動、ボランティアやNPO(非営利活動団体)活動、コミュニティ活動、自治会、育成会などの地域活動などをいいます。

- | |
|---|
| 1 参加し、今後も参加したい |
| 2 参加したが、今後参加するかどうかわからない |
| 3 参加したが、今後参加するつもりはない |
| 4 参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加したい |
| 5 参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加するかどうかわからない |
| 6 参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加するつもりはない |
| 7 今まで参加したことはないが、今後参加したい |
| 8 今まで参加したことはなく、今後も参加するかどうかわからない |
| 9 今まで参加したことはなく、今後も参加するつもりはない |

【これからの時代への対応について】

問10 あなたは、現在の社会や今後予想される社会の変化のうち、何に関心や懸念を持っていますか。次の中から5つまで選んでください。

- | | |
|---|--|
| 1 少子化や家庭環境の変化に伴う子育て・教育環境の変化 | 8 働き方改革などによる労働環境の変化やテレワーク、フレックスタイム制など働き方の多様化 |
| 2 少子化や若者を中心とした都市部への流出による地方の人口減少 | 9 人口減少に伴うあらゆる分野での労働力不足 |
| 3 中心市街地の空洞化や中山間地域の過疎化による地域コミュニティの弱体化 | 10 エネルギーの安定供給や安全性の確保 |
| 4 高齢化の進行に伴う医療、福祉、年金などの社会保障制度の行方 | 11 地方における公共交通の衰退 |
| 5 製造業や農業をはじめ各分野における世界規模での競争の激化 | 12 トンネルや橋など社会資本の老朽化 |
| 6 外国人材の受入拡大やインバウンドなど人の交流のグローバル化 | 13 地震や洪水など大規模災害の発生 |
| 7 I o T (モノのインターネット) やA I (人工知能) などの科学技術の進歩 | 14 特殊詐欺など犯罪の巧妙化・凶悪化 |
| | 15 自然環境の変化や地球温暖化の進行 |
| | 16 国と地方の役割の見直しや市町村同士の連携による行政サービスの維持 |
| | 17 その他 |
| | () |
| | 18 特にない |

問11 あなたは、「豊かさ」という言葉から、どのようなことをイメージしますか。次の中から3つまで選んでください。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 充実した子育て・教育環境 | 8 ワーク・ライフ・バランスのとれた働き方 |
| 2 文化や芸術、スポーツなどの余暇の充実 | 9 ほしい物やサービスがすぐ手に入る環境 |
| 3 時間的なゆとり | 10 快適な生活環境 |
| 4 人や家族とのふれあい | 11 美しい自然や地域に根ざした歴史・文化 |
| 5 健康であること | 12 その他 |
| 6 充実した医療・福祉 | () |
| 7 安定した収入や経済的なゆとり | 13 特にない |

問12 あなたは、「住みやすさ」という言葉から、どのようなことをイメージしますか。次の中から3つまで選んでください。

- | | |
|--------------------------------------|----------------------------------|
| 1 子育て・教育環境が充実している | 9 道路や公園、上下水道などの社会資本や公共交通機関が整っている |
| 2 近所付き合いが良好 | 10 自然災害が少ない |
| 3 文化や芸術、スポーツに親しめる環境が整っている | 11 犯罪が少ない |
| 4 医療や福祉サービスが充実している | 12 物価が安い |
| 5 食べ物がおいしい | 13 自然が豊かで水や空気がきれい |
| 6 情報通信技術の活用により行政サービスなどのネットワーク化が進んでいる | 14 その他 |
| 7 娯楽施設や商業施設が多い | () |
| 8 働く場所が多い | 15 特にない |

問13 あなたは、これからのとちぎづくりのためには、どのようなことが必要だと思いますか。
次の中から5つまで選んでください。

- | | |
|----|-----------------------------|
| 1 | 子育て・教育環境が充実していること |
| 2 | “とちぎ”のイメージが良くなり、知名度が上がること |
| 3 | 県民が“とちぎ”に愛着や誇りを持てること |
| 4 | 周囲との温かい交流があること |
| 5 | 文化や歴史、伝統を大切にすること |
| 6 | 芸術、スポーツなどの活動が盛んなこと |
| 7 | 健康でいきいきと暮らせること |
| 8 | 高齢者や障害者が安心して暮らせること |
| 9 | 商業施設などが集積し、街に活気があること |
| 10 | 製造業を中心とした工業が発展すること |
| 11 | 農林業や観光など地域資源を活用した産業が発展すること |
| 12 | 若者が安定した仕事と収入を得られること |
| 13 | 女性や高齢者、障害者の社会参画が進んでいること |
| 14 | バスなどの公共交通機関が充実していること |
| 15 | 道路や公園、上下水道などの社会資本が整備されていること |
| 16 | ネットワークを通じて手軽に情報の入手や共有ができること |
| 17 | 大規模災害への対応力が強いこと |
| 18 | 山や川、田園などの自然が豊かなこと |
| 19 | その他 () |
| 20 | 特になし |

【地域防災について】

問14 あなたの家庭では、災害に対してどのような備えをしていますか。次の中からいくつでも選んでください。

- | | | | |
|---|---------------------|-----|------------------|
| 1 | 消火器の設置 | 8 | 感震ブレーカ（※）の設置・点検 |
| 2 | 火災警報器の設置 | 9 | 避難経路や避難場所、避難所の確認 |
| 3 | 家具の転倒防止対策 | 10 | 県や市などの防災メールへの登録 |
| 4 | ガラスの飛散防止対策 | 11 | 自宅付近の危険箇所の把握 |
| 5 | 飲料水や食料の備蓄 | 12 | その他 |
| 6 | 携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などの準備 | () | |
| 7 | 非常持ち出し用品の衣類や毛布などの準備 | 13 | 特に何もしていない |
- ※ 感震ブレーカとは、地震の揺れをセンサーが感知し、あらかじめ設定しておいた震度以上の場合に、配線用ブレーカ又は漏電ブレーカなどを遮断する器具をいいます。

問15 あなたは、災害の際に必要な情報について、どのようなことを知っていますか。次の中からいくつでも選んでください。

- 1 自宅近くの避難所と安全な避難経路
- 2 避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示（緊急）の意味及び発令されたときに取るべき行動
- 3 自宅が土砂災害警戒区域に含まれているかどうか
- 4 自宅が浸水想定区域に含まれているかどうか
- 5 災害用伝言ダイヤルの番号や使い方
- 6 特にない

問16 あなたは、県や市町、自治会、企業などが行っている防災訓練に参加したことがありますか。また、今後参加したいと思いませんか。次の中から1つ選んでください。

- 1 参加したことがあります、また参加したい
- 2 参加したことはあるが、また参加したいとは思わない
- 3 参加したことはないが、機会があれば今後参加したい
- 4 参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない

【消費生活に関する意識について】

問17 あなたは、悪質商法の手口などの情報を、どのような方法で知りますか。次の中から3つまで選んでください。

- | | |
|------------------------------|---------------|
| 1 家族や友人（職場、学校を含む） | 7 ポスター、パンフレット |
| 2 新聞、雑誌 | 8 市町等の広報誌 |
| 3 テレビ | 9 町内会等の回覧版 |
| 4 ラジオ | 10 その他 |
| 5 県や市町等のホームページ | () |
| 6 ソーシャルメディア（ツイッター、フェイスブックなど） | 11 特にない |

問18 高齢者が悪質商法の被害に遭うことが増えています。あなたは、それを防ぐためにはどのような対策が有効だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 家族や親族で日頃から話題にするよう心がける
- 2 近隣で声を掛け合うことができる関係をつくる
- 3 民生委員やホームヘルパーなどによる見守り活動を行ってもらう
- 4 高齢者本人が、日頃から地域の行事等に参加し情報交換するなど自衛する
- 5 パンフレットなどの啓発活動を充実させる
- 6 消費生活センターなどの相談窓口を充実させる
- 7 悪質事業者に対する規制や指導を強化する
- 8 行政（県・市町）が、高齢者と日頃接触のある団体などと連携して見守り活動を行う
- 9 その他 ()

問19 あなたが、消費生活問題に対する取組として、県に力を入れてほしいものはどれですか。次の中からいくつでも選んでください。

- | | | |
|---|-----------------------------|---|
| 1 | 消費者教育、啓発の充実 | |
| 2 | 消費者被害に関する迅速な情報提供の充実 | |
| 3 | 消費生活相談窓口の更なる周知 | |
| 4 | 消費生活相談体制の充実 | |
| 5 | 悪質事業者の取締の強化 | |
| 6 | 製品・サービスの事故情報、リコール情報などの提供の充実 | |
| 7 | 製品・サービスの安全確保に向けた対策の充実 | |
| 8 | その他（ | ） |
| 9 | わからない | |

[男女平等意識について]

問20 あなたは、現在、社会全体の中で、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。次の中から1つ選んでください。

- | | | | |
|---|-----------------------|---|-----------------------|
| 1 | 男性の方が優遇されている | 4 | どちらかといえば、女性の方が優遇されている |
| 2 | どちらかといえば、男性の方が優遇されている | 5 | 女性の方が優遇されている |
| 3 | 平等になっている | 6 | わからない |

問21 あなたは、現在、働く場において、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。次の中から1つ選んでください。（現在働いていない方も、イメージでお答えください。）

- | | | | |
|---|-----------------------|---|-----------------------|
| 1 | 男性の方が優遇されている | 4 | どちらかといえば、女性の方が優遇されている |
| 2 | どちらかといえば、男性の方が優遇されている | 5 | 女性の方が優遇されている |
| 3 | 平等になっている | 6 | わからない |

問22 あなたは、「男は外で働き、女は家庭を守るべき」との考え方について、どのように思いますか。次の中から1つ選んでください。

- | | | | |
|---|------------|---|-------|
| 1 | 賛成 | 4 | 反対 |
| 2 | どちらかといえば賛成 | 5 | わからない |
| 3 | どちらかといえば反対 | | |

【とちぎの元気な森づくり県民税について】

問23 森林には、様々な働きがあります。あなたが特に重要だと考える森林の働きはどれですか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 生活に必要な木材や燃料チップ、きのこなどを供給する働き
- 2 水資源を蓄える働き
- 3 洪水などの災害を防止する働き
- 4 野生動植物の生息の場としての働き
- 5 空気をきれいにしたり、騒音を和らげるなど環境を快適に保つ働き
- 6 自然に親しみ、癒やしや安らぎの場としての働き
- 7 自然と人との関わりを学ぶなどの教育の場としての働き
- 8 二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を防止する働き
- 9 その他 ()
- 10 わからない

問24 栃木県では、「とちぎの元気な森づくり県民税」を活用して、本県の森林を元気な姿で将来へ引き継いでいくための様々な取組を行っています。

「とちぎの元気な森づくり県民税」の取組の中で、あなたが特に重要と思うものはどれですか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 森林の若返りを進めるため、皆伐後の植栽や下草刈り、獣害対策などへの支援をすること
- 2 とちぎ材（栃木県産の木材）を積極的に使っていくため、公共施設などの木造化・木製品整備の支援をすること
- 3 手入れのできない針葉樹林を管理の容易な広葉樹林へ転換していくこと
- 4 通学路等の見通しを良くしたり、野生獣を人里に近付けないようにするため、身近な里山林の整備を支援すること
- 5 里山林で活動するボランティアの育成や、地域での森づくり活動等への支援をすること
- 6 所有者や境界が不明な森林を適正に管理していく仕組みをつくること
- 7 森林の働きや「とちぎの元気な森づくり県民税」の取組を普及啓発すること
- 8 わからない

【気候変動について】

問25 近年、地球温暖化の進行が確認されており、温室効果ガスの排出削減対策が取り組まれている中で、私たち一人ひとりにおける取組も重要なものの一つとされています。あなたの家庭で行っている又は行ったことがあるものを、次の中からいくつでも選んでください。

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1 太陽光発電設備の設置 | 6 見える化技術（※2）の導入 |
| 2 住宅の断熱改修（二重窓、断熱材施工など） | 7 ハイブリッド自動車、電気自動車などの購入 |
| 3 低炭素型給湯設備（※1）の設置 | 8 公共交通機関や自転車などの利用 |
| 4 省エネ家電製品への買換 | 9 その他 () |
| 5 LED照明への買換 | 10 特になし |

※1 低炭素型給湯設備とは、使用時や待機時のエネルギー消費量が少ない給湯器で、具体的にはヒートポンプ式給湯器や潜熱回収型給湯器などをいいます。

※2 見える化技術とは、電力使用量等をリアルタイムで表示するなど、家庭におけるエネルギー管理を支援するもので、具体的にはホームエネルギーマネジメントシステム（HEMS）やスマートメーターなどをいいます。

問26 気温の上昇のみならず、降水量の変化などの「気候変動」が確認されており、今後、その影響はさらに深刻化するおそれがあります。あなたが感じる気候変動による影響は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

- 1 農作物の品質低下や不作
- 2 水質の悪化
- 3 渇水の増加
- 4 野生生物や植物の生息域の変化
- 5 洪水などの自然災害の増加
- 6 熱中症の増加
- 7 感染症の増加（デング熱など）
- 8 自然資源を活用したレジャーへの影響（雪山、森林など）
- 9 交通や水道などのインフラ・ライフラインへの影響（豪雨による浸水や停電など）
- 10 ヒートアイランド現象
- 11 その他（）
- 12 特にない
- 13 わからない

問27 気候変動の影響による被害を回避・軽減するために、様々な対策（適応策）が求められています。あなたの家庭で実践していることはありますか。次の中からいくつでも選んでください。

- 1 熱中症対策（暑さ指数の確認、水分補給、エアコンの適切な使用など）
- 2 防災情報の確認（防災メールやアプリの利用、ハザードマップの確認など）
- 3 災害への備え（防災グッズの準備、水の備蓄など）
- 4 節水への取組（雨水タンクによる雨水の利活用など）
- 5 感染症予防（虫よけスプレーや蚊帳の利用など）
- 6 気象災害用の保険への加入
- 7 その他（）
- 8 特にない

問28 県では、家庭部門における温室効果ガスの排出削減に向け、「COOL CHOICE(クールチョイス)」(※)を推進しています。あなたは、「COOL CHOICE(クールチョイス)」の取組を知っていますか。次の中から1つ選んでください。

※「COOL CHOICE(クールチョイス)」とは、国が推進する国民運動で、省エネ・低炭素型の「製品」、「サービス」、「行動」などの温暖化対策に資する「賢い選択」を促す取組をいいます。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1 知っていて、実践している | 3 聞いたことはあるが、実践していない |
| 2 知っているが、実践していない | 4 知らない |

[産業廃棄物処理施設について]

問29 あなたは、産業廃棄物処理施設にどのようなイメージがありますか。次の中からいくつでも選んでください。

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1 公害防止対策がきちんとされている | 6 地域の印象が悪くなる |
| 2 資源のリサイクルに取り組んでいる | 7 どのようなことをしているのかよくわからない |
| 3 地元雇用や社会貢献活動等で地域と共生している | 8 その他 () |
| 4 環境汚染や健康被害のおそれがある | 9 特にイメージはない |
| 5 火災等の事故があり危険である | |

問30 もし、あなたの家の近くに産業廃棄物処理施設ができるとした場合、認めることができますか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|-----------|----------|
| 1 認める | 3 絶対認めない |
| 2 条件付で認める | 4 わからない |

(問30で選択肢「2」を選んだ方のみお答えください)

問30-1 どのような条件がそろえば認めることができますか。次の中からいくつでも選んでください。

- | |
|-------------------------------------|
| 1 環境汚染を引き起こさないことについて納得のいく説明がされる |
| 2 万が一事故等があった場合に事業者が全責任をとってくれる |
| 3 自由に施設に立ち入ることができ、安全性について自分の目で確認できる |
| 4 周辺の道路や公民館等が新しく整備される |
| 5 事業者が信頼できる |
| 6 その他 () |

[地域のつながり・住民同士の支え合い活動について]

問31 あなたは現在、ご近所（向こう三軒両隣など）の方とどのような関係ですか。次の中から1つ選んでください。

- | |
|----------------------------------|
| 1 家族構成や人となりなどもよく知っていて、親しく付き合っている |
| 2 顔と名前が分かり挨拶をする程度である |
| 3 ほとんど、もしくは全く付き合いがない |

問32 日常生活で困ったときに、家族・親族以外で相談できるところ（相手）はどこ（誰）ですか。次の中からいくつでも選んでください。

- | | |
|--|-----------------------------|
| 1 知人・友人 | 7 福祉サービス事業者 (社会福祉法人、NPO法人等) |
| 2 隣近所の人 | 8 その他 () |
| 3 民生委員・児童委員 | 9 相談できるところ（相手）はない |
| 4 班長・自治会長 | |
| 5 社会福祉協議会 | |
| 6 市役所・町役場（子育て支援センターや地域包括支援センター等の相談窓口を含む） | |

問33 高齢者や障害のある方、子育て中の方などが日常生活を送る上で、どのような住民同士の支え合いによるサービス・活動が必要だと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

- 1 見守りや声かけ
- 2 話し相手
- 3 買い物や病院へ行く場合の送迎
- 4 日常生活のちょっとした手伝い（電球の交換、ゴミ出し、家事掃除など）
- 5 食事の提供などの配食サービス
- 6 サロンのような気軽に集い交流できる場所の運営
- 7 災害など緊急時の手助け（安否確認、避難所への誘導など）
- 8 その他（)
- 9 特になし

【在宅医療について】

問34 あなたが病気やけがで長期の療養が必要になり、通院が困難になった場合、自宅で療養したいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|--------|-----------------|
| 1 そう思う | 2 そう思わない → 問35へ |
|--------|-----------------|

（問34で選択肢「1」を選んだ方のみお答えください）

→ 問34-1 自宅での療養は実現可能だと思いますか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1 実現可能だと思う → 問35へ | 2 実現は難しいと思う |
|-------------------|-------------|

（問34-1で選択肢「2」を選んだ方のみお答えください）

→ 問34-1-1 自宅での療養が難しいと思う理由は何ですか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 急に病状が悪化した時の対応が不安だから
- 2 家族に負担がかかるから
- 3 療養できる部屋やトイレなどの療養環境が整っていないから
- 4 自宅に往診してくれる医師や看護師が見つからないから
- 5 介護してくれる家族がいないから
- 6 医師や看護師に自宅の中を見られたくないから
- 7 その他（)

問35 人生の最終段階を迎えた時の医療やケアの希望等の意思表示を家族等と事前に繰り返し話し合うことについて、どのようにお考えですか。次の中から1つ選んでください。

- 1 そのような話し合いは必要であり、既に話し合っている又は今後話し合おうと考えている
- 2 そのような話し合いは必要だと考えるが、考えるきっかけがない
- 3 そのような話し合いは必要だと考えるが、考えたくない
- 4 そのような話し合いは必要ない

【障害者差別の解消について】

問36 障害者から困っていることを伝えられたときやヘルプマーク(※)の携帯者を見かけたとき、あなたの行動や気持ちとして最も当てはまるものを次の中から1つ選んでください。

※ ヘルプマークとは、援助や配慮を必要としていることが外見からは分かりにくい障害のある方が、周囲の人に配慮を必要としていることを知らせ、援助を得やすくするためのマークをいいます。

※ 障害者に対する合理的配慮の一例

車椅子を押す、ドアの開閉の手助け、聴覚障害者との手話や筆談、視覚障害者の案内、その他状況に応じたルールの変更等

- 1 自分から進んで声をかけて、配慮が必要か確認する
- 2 自分から進んで声はかけないが、当事者から求めがあれば、自分にできる範囲で配慮を提供する
- 3 専門の人や関係者などに任せたほうがよいと思う
- 4 困っている障害者やヘルプマークを見かけることはない
- 5 その他 ()

問37 栃木県では、障害を理由とする差別の禁止や理解の促進に向けて「栃木県障害者差別解消推進条例の制定」や「相談窓口の設置」、「ヘルプマークの配布」等の様々な取組を行っています。あなたが、この取組に関し、知っていることを、次の中からいくつでも選んでください。

- 1 条例や対応指針策定による障害者差別解消への理解促進
- 2 相談窓口（栃木県障害者権利擁護センター）の設置による差別解消への相談対応
- 3 ヘルプマーク配布による合理的配慮の提供促進
- 4 テレビ・ラジオによる広報
- 5 チラシ・リーフレットによる広報
- 6 県職員による出前講座
- 7 その他 ()
- 8 知っているものはない

問38 障害を理由とする差別の解消について、理解が進んでいると感じている点がありますか。次の中からいくつでも選んでください。

- 1 障害者用の駐車場やトイレが増えたり、段差が解消された箇所が増えた
- 2 行政の対応がより配慮されるようになった
- 3 商店や企業の対応がより配慮されるようになった
- 4 公共交通機関の対応がより配慮されるようになった
- 5 障害者施策に関する新聞記事やテレビ番組が増えた
- 6 街で障害のある方をよく見かけるようになった
- 7 その他 ()
- 8 理解が進んでいるとは思わない

【結婚や子育てに関する意識について】

問39 少子化の要因の一つと言われる晩婚化や未婚化が進んでいる理由について、あなたはどのように思いますか。次の中から2つ選んでください。

- 1 結婚することの意義や利点を感じにくくなっているから
- 2 結婚しない生き方も受け入れられる社会になっているから
- 3 独身で親と同居しているほうが、親が家事等の世話をしてくれて楽だから
- 4 結婚しないほうが経済的に豊かな生活を送れるから
- 5 結婚して家庭を営むことより、仕事のキャリアを積んだり趣味を楽しんだりすることを優先したいから
- 6 男女の出会いや交流の機会が少なくなっているから
- 7 収入が安定しないために、結婚したくてもできないから
- 8 その他 ()
- 9 わからない

問40 あなたは、おおむね5年の間に栃木県では子育てがしやすくなったと思いますか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 そう思う | 3 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 4 そう思わない |
| | 5 わからない |

(問40で選択肢「3」、「4」を選んだ方のみお答えください)

→ 問40-1 あなたは、今後特にどのような点が改善されれば、子育てがしやすくなると思いますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 子育てに関する経済的支援の更なる充実
- 2 子育てについて相談できる場（窓口）や情報を得られる場の更なる整備・充実
- 3 ニーズに合った様々な保育サービスの更なる整備・充実
- 4 子育てに対する周囲（職場など）の理解・協力
- 5 その他 ()

【食の安全・安心について】

問41 あなたは、食品の安全性について、不安を感じていますか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1 大いに感じている | 3 あまり感じていない |
| 2 多少は感じている | 4 全く感じていない |

↓
次のページの間41-1へ

↓
次のページの間42へ

(問41で選択肢「1」、「2」を選んだ方のみお答えください)

問41-1 あなたは、食品の安全性のどのような部分について不安を感じていますか。次の中から4つまで選んでください。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 残留農薬 | 10 重金属 (カドミウム・水銀など) |
| 2 食品添加物 | 11 食中毒 |
| 3 環境ホルモン (内分泌かく乱物質) | 12 いわゆる「健康食品」 |
| 4 遺伝子組換え食品 | 13 原産地 |
| 5 BSE (牛海綿状脳症) | 14 輸入食品 |
| 6 高病原性鳥インフルエンザ | 15 賞味期限・消費期限 |
| 7 体細胞クローン牛・豚 | 16 放射性物質 |
| 8 食物アレルギー | 17 その他 |
| 9 家畜の医薬品 | () |

[食に関する意識と実践について]

問42 あなたは、食事の際「いただきます」を言いますか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 必ず言う | 3 言わないことが多い |
| 2 言うことが多い | 4 言わない |

問43 あなたは、田植えやいちご狩り、乳搾りなどの農業体験をしたことがありますか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1 今までに複数回体験したことがある | 3 1回も体験したことがない |
| 2 今までに1回体験したことがある | |

[犯罪と治安対策について]

問44 あなたは、県内の治安についてどう感じますか。次の中から1つ選んでください。

- | | | |
|--------------|--------------|---------|
| 1 良い | 3 どちらともいえない | 5 悪い |
| 2 どちらかといえば良い | 4 どちらかといえば悪い | 6 わからない |

問45 あなたは、どのような犯罪に不安を感じますか。次の中からいくつでも選んでください。

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1 子どもに対する犯罪 | 11 家に侵入する強盗、窃盗犯罪 |
| 2 女性に対する犯罪 | 12 屋外でのひったくりなど強盗、窃盗犯罪 |
| 3 高齢者に対する犯罪 | 13 薬物 (危険ドラッグも含めて) 乱用事件 |
| 4 若者に対する犯罪 | 14 インターネット利用犯罪 |
| 5 振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺事件 | 15 悪質商法による犯罪 |
| 6 金融機関、コンビニなどに対する強盗事件 | 16 食の安全・安心に関する犯罪 |
| 7 少年による凶悪、粗暴事件 | 17 不法投棄等の環境に関する犯罪 |
| 8 外国人による犯罪 | 18 その他 |
| 9 暴力団による犯罪 | () |
| 10 暴走族による犯罪 | 19 特にない |

〔あなたご自身やご家族について〕

最後に、お答えいただいたことを統計的に分析するため、あなたご自身やご家族についてお答えください。

F 1 あなたの性別は。

1 男性	2 女性
------	------

F 2 あなたの年齢は、次の中のどれに当てはまりますか。

1 18歳～19歳	3 30歳～39歳	5 50歳～59歳	7 65歳～69歳
2 20歳～29歳	4 40歳～49歳	6 60歳～64歳	8 70歳以上

F 3 あなたの職業は、次の中のどれに当てはまりますか。

(自営・家族従業)		(勤めている)		(無 職)	
1 農林漁業	2 商工サービス業・自由業	3 管理職・事務職 ・専門技術職	4 労務職	5 家 事	6 その他の無職 ・学生

F 4 あなたの家計を主に支えているのはあなたですか。

1 はい	2 いいえ
------	-------

(F 4で選択肢「2」を選んだ方のみお答えください)

→ F 4-1 あなたの家計を主に支えている方のご職業は、次の中のどれに当てはまりますか。

(自営・家族従業)		(勤めている)		(無 職)
1 農林漁業	2 商工サービス業・自由業	3 管理職・事務職・ 専門技術職	4 労務職	5 その他の無職

F 5 あなたのご家族には、65歳以上の方がいらっしゃいますか。あなた自身も含めてお答えください。

1 いる	2 いない
------	-------

F 6 あなたは、栃木県でお生まれになりましたか。

1 はい	2 いいえ
------	-------

F7 あなたは、栃木県に通算して何年お住まいですか。

1 1年未満	4 5年～9年
2 1年～2年	5 10年～19年
3 3年～4年	6 20年以上

F8 現在、あなたのご住居は、次の中のどれに当たりますか。

1 持家の一戸建	5 民間の賃貸アパート・マンション
2 持家の集合住宅（分譲マンションなど）	6 社宅・官舎
3 借家の一戸建	7 その他
4 公社・公営の賃貸住宅	()

F9 あなたがお住まいの周囲の環境は、次の中のどれに当たりますか。

1 農山村	3 商店街
2 住宅地	4 その他 ()

F10 あなたがお住まいの地域は、次の中のどれに当たりますか。

1 県北地域（日光市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、塩谷町、高根沢町、那須町、那珂川町）
2 県央地域（宇都宮市、鹿沼市、真岡市、上三川町、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町、壬生町）
3 県南地域（足利市、栃木市、佐野市、小山市、下野市、野木町）

F11 あなたのご住所は、次の中のどれに当たりますか。

1 宇都宮市	2 宇都宮市以外の市	3 町
--------	------------	-----

◎長時間にわたり、ご協力ありがとうございました。お手数ですが、添付の返信用封筒（切手不要）に入れて、7月2日（火）までにご投函ください。